

## 看護学科

科目名: 在宅看護学概論			担当教員 氏名: 荒木 晴美						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	専門科目	講義	必修				
実務経験を用いてどのよ: 病院、訪問看護事業所管理者(訪問看護、居宅介護、福祉用具貸与)、介護認定調査員などの実務経験 うな授業を行っているか: を活かして、地域と在宅で暮らす人々の理解、支援のあり方について教授する。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
在宅看護学は、地域に住むあらゆる健康レベルの人々が、その人らしく住みなれた地域で暮らし続けることを支援することを目的とする。そのためには、在宅の場での医療技術の提供、療養生活の支援、健康障害の予防と健康の維持増進へのかかわりが必要である。 また、療養者を含めた家族や住民、医療や福祉職を含むさまざまな人々との連携を構築していく技能と、生活の場で医療の知識技術を応用していく技能が必要となる。 ここでは、広い視野で長寿、少子高齢社会について考え、地域と在宅という場の特徴を捉え、あらゆる人が住みなれた地域で暮らし続けるための支援のあり方と看護の役割について学ぶ。						地域看護 継続看護 ケアマネジメント 地域連携 チームケア ヘルスプロモーション			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
A 知識・理解力			★広い視野で長寿、少子高齢社会について考え、地域と在宅という場の特徴を捉え、あらゆる人が住みなれた地域で暮らし続けるための支援ができるようになるために ①在宅看護の概念、対象、方法について理解する ②在宅看護を提供する資源とシステムについて理解する ③在宅療養を支えるための看護の役割について考える						
C 論理的思考力			グループワークを行うことをとおして論理的思考、問題解決力、チームワーク、コミュニケーション力、自己管理能力を向上させる。						
D 問題解決力									
E 自己管理能力									
F チームワーク・リーダーシップ									
H コミュニケーション力									
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト: 60 %		レポート: 20 %		発表: 10 %		実技試験: %      その他: 10 %			
特記事項: 本科目はアクティブ・ラーニングの一環としてグループワークなどによりグループ討議を行います。上記の「その他10%」: 授業の取り組み姿勢を評価します。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習    ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 本科目はアクティブ・ラーニングの一環としてグループワークにより在宅療養者の理解を深め、看護師としての役割を学ぶことを狙いとしています。その他10%は取り組み具合を評価します。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テーマごとに課題の提出を行います。テストは別に定めた日時に行い、後日返却します。									
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)			
						学習内容		学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション、在宅看護学の学び方、在宅看護とは						【予習】シラバス・テキスト1の1在宅看護の概念の2、テキスト2の第1章③熟読 【復習】ポイントをノートに整理		180分	
②在宅看護の概念(社会の変化と在宅看護)						【予習】テキスト1の1在宅看護の概念の1、3の1地域包括ケアシステム、テキスト2の第1章①熟読 【復習】ポイントをノートに整理		180分	
③特別講義 障害者の理解						【予習】テキスト1の4地域療養を支える制度の6-9 【復習】課題レポートの作成		180分	
④在宅療養者と家族の支援						【予習】テキスト1の2在宅療養者と家族の支援熟読 【復習】確認テストの学習		180分	
⑤在宅療養を支える制度と社会資源、確認テスト						【予習】テキスト1の4地域療養を支える制度の1-3熟読 【復習】ポイントをノートに整理		180分	
⑥在宅療養を支える制度と社会資源(介護保険制度を中心に)						【予習】テキスト1の4地域療養を支える制度の4熟読 【復習】ポイントをノートに整理		180分	
⑦在宅療養を支える制度と社会資源(訪問看護)						【予習】テキスト1の5在宅療養を支える訪問看護の1-2熟読 【復習】ポイントをノートに整理		180分	
⑧地域包括ケアシステムにおける在宅看護、ケアマネジメント(グループワーク)、まとめ						【予習】事例を熟読してくる テキスト1の3地域包括ケアシステムにおける在宅看護熟読 【復習】テキストの振り返り		180分	
使用テキスト: 1. 在宅看護論①地域療養を支えるケア(ナーシング・グラフィカ)、メディカ出版、ISBN978-4-8404-6520-5、 壺 有桂他 2. 関連図で理解する在宅看護過程、メヂカルフレンド社、ISBN978-4-8392-1629-0、 正野 逸子他				その他参考文献など: 国民衛生の動向(厚生省の指標別冊) 必要時資料をコピーして渡します。					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 自分が自宅での生活の中で、障害や病気をもったとき、現在と生活がどのように変化するかを考えながら学習を進めてください。									